

# 款10 教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,378,695,000円	8,227,861,673円	98.2%	0円	150,833,327円

## 項1 教育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,337,117,000円	2,290,205,757円	98.0%	0円	46,911,243円

## 目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,240,000円	5,877,480円	94.2%	0円	362,520円

### (教育総務課)

目的	教育委員会議の開催と事務局運営				
指標	開催回数	目標	12回	実績	14回 (18年度 16回)
説明	委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会議を14回開催し、重点施策及び条例規則の改正の審議等を行い適正な会議運営に努めました。また、本市教育の重要課題や懸案事項等に対する認識を深めるため、関係者を交えた議論の場として教育懇談会を9回開催し、教育現場の実態把握や意思疎通の向上を図り本市教育施策の充実に努めました。				

〔委員報酬〕 5,307,600円  
 ・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人  
 〔交際費〕 8,400円

### その他経費

〔負担金〕 500,550円  
 ・三重県市町村教育委員会連絡協議会 383,550円  
 ・三重県都市教育長会 59,000円  
 ・全国都市教育長会等 58,000円  
 〔一般経費〕 60,930円

## 目2 事務局費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,300,184,000円	1,295,351,543円	99.6%	0円	4,832,457円

〔一般職給〕 72人 712,035,930円  
 〔嘱託職給〕 7人 22,041,783円

### (教育総務課)

〔退職手当〕 350,225,488円  
 ・定年退職 8人 199,759,159円  
 ・勸奨退職 5人 118,421,650円  
 ・普通退職 3人 32,044,679円  
 〔公務災害補償費〕 30,000,000円  
 〔事務局管理運営費〕 2,879,352円  
 ・職員健康管理費

### (学校教育課)

〔公務災害補償費〕 61,880円

### その他経費

〔学校施設整備基金積立金〕 (H19年度末残高 575,681,772円)	102,860,914円	(その他特財	2,860,914円)
〔事務局管理運営費〕	66,719,286円		
・合併に伴う教育制度検討事業費	15,800円		
・職員研修費	203,000円		
・一般経費(長欠等代替臨時職員賃金等)	66,500,486円	(その他特財	2,164,101円)

### 目3 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
860,898,000円	831,440,502円	96.6%	0円	29,457,498円

#### (教育総務課)

〔コミュニティスクール調査研究事業費〕	1,265,920円
〔学校第三者評価等推進事業費〕	558,660円
〔学校プール運営委託費〕	4,588,140円
〔奨学資金〕	9,151,326円
・四日市奨学補助金	8,875,326円
・貸付資金	276,000円

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援			
指標	対象学校数、対象生徒数	目標	実績	
	1人当たりの補助額	1人当たりの補助額の拡大		
	公私立園保育料格差	公私立園保育料格差の縮減		
説明	私立学校(市内6校、市外2校、市内15幼稚園)の運営費等を補助することで教育条件の維持向上及び経営の健全化を支援するとともに、市内に住所があり、私立幼稚園に在園する園児の保護者に、保育料を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図りました。			

〔私立学校等振興助成費〕	204,041,090円
・私立学校等運営費補助金	11,768,750円
・私立幼稚園運営費補助金	9,656,740円
・私立幼稚園教員研修費補助金	2,020,000円
・私立幼稚園保育料補助金	19,381,200円
・私立幼稚園就園奨励費補助金	161,214,400円 (国庫支出金 42,485,000円)

#### 【幼稚園就園奨励費補助金の対象になる世帯と補助額】

小学校1・2年生の兄・姉を持たない園児の世帯 補助対象者 1,739人

平成19年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 141,900円	93人	102人
	第2子 185,000円	9人	
	第3子 257,000円	0人	
所得割非課税世帯	第1子 107,600円	26人	28人
	第2子 162,000円	2人	
	第3子 250,000円	0人	
所得割課税の額が 34,500円以下の世帯	第1子 81,700円	115人	129人
	第2子 143,000円	14人	
	第3子 245,000円	0人	
所得割課税の額が 183,000円以下の世帯	第1子 57,500円	1,316人	1,480人
	第2子 127,000円	162人	
	第3子 240,000円	2人	

小学校1・2年生の兄・姉を持つ園児の世帯 補助対象者 460人

平成19年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第2子 157,000円 第3子 171,000円	23人 5人	28人
所得割非課税世帯	第2子 126,000円 第3子 144,000円	13人 2人	15人
所得割課税の額が 34,500円以下の世帯	第2子 103,000円 第3子 123,000円	30人 1人	31人
所得割課税の額が 183,000円以下の世帯	第2子 81,000円 第3子 104,000円	361人 25人	386人

(指導課)

目的	小中学校教育の充実				
指標	指導要録の各教科の 評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上 平均82%	実績	「おおむね満足できる」以上 平均83% (18年度 82.4%)
説明	<p>目標の指標は、この2年間で達成していますが、小中学校の学校間ではばらつきがみられます。学びの一体化の推進事業において、合同研修会、公開授業、情報交換会、児童生徒交流等の取り組みを全中学校区で実施し、確かな学力と健やかな成長を伸ばさせるための工夫を行っています。また、個々の課題検討のため、推進協議会(全体会)を年3回、9つの各教科部会を年数回実施しました。ここでは、9年間を見通した教育課程等の工夫とそのための施策を継続的に検討していきたいと考えています。到達度検査では、四日市市の子どもたちの学力は全国平均もしくは平均以上であり、英語については全国平均と比べると3年連続優れています。これは、英語指導員の小中学校への派遣が定着し、その成果が出てきていると考えられます。社会と数学は全国と同水準、国語と理科がやや下回るとの結果が出ています。図書館の活性化として小中学校へ週1回の司書派遣を継続して行い、貸出図書数も86%の児童生徒が月1冊のペースで本を借りるようになってきています。さらに司書の活用を工夫し、読書だけでなく図書館の調べ学習機能も充実するよう検討していきたいと考えています。平成19年度よりはじめた大学及び企業との連携による授業力向上推進事業では、大学教官を年延べ112回幼小中学校園の研修会へ派遣し、企業による授業は理科教育やキャリア教育の一環として8つの小中学校で実施されました。各学校では平成18年度より毎年学校づくりビジョンを改定し、それに基づき地域の教育力を生かした独自の教育活動や学力向上などその学校の課題克服のための具体的な方策の実現、児童活動への援助などを行うことができました。その評価も80%を超えるようになってきました。今後は、これまでの学校運営の実績と現状を考慮し、きめ細かい指導助言や予算配分などを通して成果を上げていきたいと考えています。</p>				

〔委員報酬〕

198,900円

- ・障害児就学指導委員会委員 3人分 6回開催

〔児童生徒指導事業費〕

3,936,345円

- ・環境教育推進事業費 410,025円  
小学4年用環境学習資料「くらしと水」「くらしとごみ」各3,500冊印刷
- ・文化部活動奨励費補助金 846,320円  
補助件数2件 第62回東海吹奏楽コンクール等
- ・自分発見中学生・地域ふれあい事業費 2,380,000円 (県支出金 1,190,000円)  
県補助事業による職場体験活動(17中学校・68学級で実施)
- ・体力づくり推進校事業費 200,000円 (県支出金 200,000円)  
体力づくりに取り組む実践研究校の公開授業等の経費
- ・特別支援教育総合推進事業費 100,000円 (県支出金 100,000円)  
通級指導教室でできる小集団による指導のあり方についての研究の教材・消耗品費等

〔学校図書館いきいき推進事業費〕

39,492,876円

全市立小中学校62校に司書を派遣し、学校図書館を活性化させ、子どもたちの読書活動や学習活動を支援 1校当たり週1回程度 1回6時間 年40回

〔学校図書館支援センター推進事業費〕

6,811,200円 (国庫支出金 6,811,200円)

協力校として小学校4校、中学校2校に協力員を派遣し、読書・調べ学習での図書館利用指導の研究や読書センターや学習情報センターとしての学校図書館の研究の実施

〔学校づくりビジョン推進事業費〕

24,667,950円

「学校づくりビジョン」の実現に向けた教育活動や研修等の取り組みにかかる費用を支援 全市立小中学校62校 1校当たり270,000円～495,000円

- 〔学校英語教育充実事業費〕 77,881,012円（その他特財 6,641,594円）  
英語教育の向上・充実を図るため米国ロングビーチ市などから11人の英語指導員を招致し、中学校を中心に派遣 小学校については民間委託により7人の英語指導員を派遣し1・2年生で年5時間程度、3年生以上で年10時間以上の英語活動を実施
- 〔教職員研修費〕 119,500円  
幼稚園新規採用教員及び教職経験10年教員研修旅費
- 〔学びの一体化推進事業費〕 6,403,849円（県支出金 2,117,000円）  
小・中学校が情報交換や授業研究等連携を強め、教育活動の連続性を図り、確かな学力・豊かな人間性の育成を目指した活動を推進 基礎学力到達度検査診断料等
- 〔自然教室事業費〕 19,037,405円  
小学校 1泊2日 中学校 2泊3日  
参加児童生徒数 小学校 2,926人（5年生） 中学校2,919人（1年生または2年生）  
バス借上げ料 宿泊費等施設使用料他
- 〔大学及び企業との連携による授業力向上事業費〕 2,131,713円  
校園内研修に大学教官を派遣し、教職員の資質向上を図る。また、企業の専門的知識・技術を生かし、理科学習や職業教育の充実を図る。

目的	生徒指導の充実				
指標	問題行動・不登校児童生徒数	目標	220件以下・300人以下	実績	241件・387人 (18年度254件・328人)
説明	<p>問題行動件数は昨年度より13件減になっています。これは、いじめ件数が平成18年度134件から平成19年度110件と減少したことが影響していると考えられます。しかし、他の問題行動件数は減少しておらずこれまでのとおり課題は減ったとは言えない状況です。特に、不登校人数は年々増加し昨年度より59人増加し387人になっています。不登校の原因は本人の不安・無気力や人間関係などが主な要因であり、専門家のカウンセリングによる心のケアを行っています。小中学校のスクールカウンセラーの平均相談件数は1校当たり159件で配置時間数に対しての相談件数は昨年度と同割合になっています。学校や家庭にカウンセラーを直接派遣するハートサポート事業は81件と昨年度の2倍となっており需要が高まっています。目標指数の達成には、不登校を予防していくことが必要であるため、全小中学校でQU調査を実施し、早期発見による未然防止を一層進めています。Q-U調査の効果があがるよう各校での研修会に指導主事が参加し、具体的な指導助言を行っています。また、生徒指導対策事業として、家庭訪問や校外補導、地域連携会議など教職員が迅速に対応できる体制づくりをしています。</p> <p>日本語指導の必要な幼児児童生徒が335人に増加しており、笹川地区には224人(市全体の67%)が在籍しています。生徒指導上、まず初歩的な日本語ができることが必要であり、日本語初期適応指導教室(いずみ教室)及び各校への適応指導員の派遣は不可欠の状況になっています。いずみ教室では、平成19年度は39人が修了し、前年度より28人も増加し、成果を上げています。全市的にも増加傾向にあり、母語の種類も10ヶ国語と多様になってきており、新たに対応策を講じる必要が出てきています。</p>				

- 〔児童生徒指導事業費〕 70,841,892円
- ・いじめ・不登校等教育相談事業費 17,919,000円
    - ハートサポーター 11人 要請により幼稚園・小中学校へ派遣 延べ81回
    - 心の教室相談員 小学校34校に配置 1校当たり 年間216時間
    - スクールカウンセラー 中学校4校 小学校5校に配置 1校当たり 年間217時間
  - ・生徒指導対策事業費 7,646,000円
    - 暴力行為やいじめ等の問題行動等の解決に向けての家庭訪問、校外補導、地域連携会議を支援
    - 家庭訪問 12,151件 地域連携業務 4,286件 学校警備 86件
  - ・外国人幼児児童生徒教育充実事業費 39,914,392円
    - 適応指導員派遣経費(8223時間) 20,170,787円
    - 日本語がほとんどわからない外国人児童生徒のための初期適応指導教室(いずみ教室)経費
    - 指導員5名・事務職員1名の賃金及び備品購入費、消耗品費等 19,743,605円
  - ・外国人児童生徒教育支援センター事業費 1,200,000円（県支出金 1,200,000円）  
学校へ協力員を派遣 延べ443時間 高校進学ガイダンス開催
  - ・子どもと親の相談員活用調査研究委託事業費 700,000円（県支出金 700,000円）  
相談員を配置 小学校2校 延べ700時間
  - ・学級経営サポート事業費 3,462,500円  
いじめや不登校の予防と早期発見、早期対応のため、全小中学校で「学級集団アセスメントQ-U調査」を実施

目的	幼稚園教育を充実する				
指標	保護者の保育に対する信頼度	目標	「信頼できる保育」90%	実績	信頼できる保育 95% (18年度 93%)
説明	<p>公立幼稚園における子育て支援活動については、園づくり活動指導員に、引き続き支援を行ったこともあり、遊び会への参加人数が19,594組となり目標を約2,000組上回っています。また、子育て相談件数も808件(昨年度比85件増)と増加しており、各園の活動の一環として定着し、地域の信頼にもつながってきています。同時に保護者の保育に対する信頼度も95%に上がり、昨年度に続き目標を達成しています。園づくりビジョンも全園で作成しており、めざす幼稚園像も明確になってきています。保育の資質向上のため、近隣園と情報交換をしたり、幼稚園グループ研修(4グループ)を企画したりし、各園で工夫した取り組みをさらに進めていきたいと考えています。</p> <p>2つの地域で継続して行っている市民活動団体による子育て支援活動も定着してきており、地域の子育て支援の役割を担っています。</p>				

〔子育て支援推進事業費〕	5,060,460円
・園づくり支援事業費	3,400,460円
幼稚園に園づくり活動指導員を配置 1園当り 1回2時間 月2~4回程度	
遊び会参加人数 19,594組 相談件数 808件	
・子育て支援運営費補助金	1,360,000円
市民活動団体による子育て支援活動に対する補助 2ヶ所	
・育ちのりレー推進事業費	300,000円(県支出金 300,000円)
就学前から小学校までの学びの連続性を考慮した教育の充実を図るための研究事業 1小学校区	

#### その他経費

〔負担金〕	
・三泗教育発表振興会	2,666,000円
〔一般経費〕	
・教育振興一般経費	9,101,741円
社会科副読本「のびゆく四日市」の印刷配付他	

#### (学校教育課)

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	少人数授業の充実度の評価(3以上の学校)	目標	70%以上	実績	87%
説明	<p>基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として、小学校では国語・算数、中学校では数学・英語を中心にすべての学校において30人以下で授業が行われるように講師を配置しました。</p> <p>16年度から飛躍的に授業時間数が伸び、授業態度に落ち着きがみられるなど、学習環境の改善が図られ、その成果が着実に上がっています。18年度には新たに講師の教育力を向上させるために、アドバイザー制度を導入し、指導者の力量も一層高まっています。</p> <p>少人数授業の充実度が3以上の評価を受けた学校が87%と高率になっており、関係者から高い評価を得ています。</p>				

〔基礎学力充実教員加配事業〕	172,150,182円
----------------	--------------

#### その他経費

〔学校図書館システム事業費〕	154,350円
〔保健給食費〕	14,627,753円
・保健給食研修費	131,231円
・環境衛生検査室管理費	199,670円
・四日市市学校保健大会開催費	132,620円
・四日市市学校保健会補助金	438,000円
・楠学校給食共同調理場管理運営費	13,726,232円
〔負担金〕	670,000円
・三重県特別支援教育研究会等	

**(人権・同和教育課)**

目的	学校人権教育の推進充実を図る				
指標	学校人権教育リーダーの登録者 人員(累積人数)	目標	62人以上	実績	63人
説明	連続講座によるリーダー育成研修を実施し、指導者の育成を図りました。なお、18年度までの受講者にフォローアップ研修会を実施し、勤務校周辺地域の学校人権教育に関する研修会の講師・助言者として63名を本課人材バンクに登録しました。また、人権教育推進校を中心に学習プログラムに関する研究を進め、その成果を公開授業及び研究冊子により市内の全校園に公開しました。さらに、各中学校ブロック内の幼稚園・小中学校が連携し、合同研修会や情報交換会、子ども人権フォーラム等を実施したり、いじめ問題に関わる本課作成リーフレットを使用した教職員自らの人権感覚を振り返る研修会を各小中学校で実施したりして、児童生徒及び教職員の人権感覚や実践力の向上を図りました。				

- 〔人権教育指導者・リーダー育成充実事業費〕 3,712,192円
- ・学校人権教育リーダー育成事業費 532,192円
    - 学校人権教育リーダー育成研修会 439,202円
    - 3 1小中学校の人権教育担当教員各1名に4回連続講座を実施
    - 学校教職員人権研修会 92,990円
    - 人権教育推進委員研修会、小中学校・幼稚園人権教育実践研修会、新採教職員人権教育研修会等を実施
  - ・学校人権教育推進事業費 3,100,000円
    - 人権教育推進校園委託 900,000円
    - 2 幼稚園・4 小学校・3 中学校が人権教育カリキュラム・学習プログラムの研究を実施
    - 中学校ブロック人権文化創造事業委託 2,200,000円
    - 「人権教育推進校区連絡協議会」を2 2中学校ブロックそれぞれに組織し、関係校園等による情報交換会や合同研修会、小中学校代表児童生徒による「子ども人権フォーラム」を実施
  - ・いじめや差別をなくす人権意識向上事業費 80,000円
    - リーフレット作成(監修・翻訳)および各校でのリーフレットを使用した研修会の実施

目的	地域の児童・生徒の自主自立を支援する				
指標	キッズ・スクール実施回数	目標	65回以上	実績	152回 (18年度 102回)
説明	5地域(保々・神前・常磐・日永・笹川)にある「子ども人権文化育成協議会」に事業を委託し、地域人権教育推進として、地域の子どもたちへの人権学習、進路相談、言語習得活動等を中心に、地域の指導者の参加を得て、仲間づくりや人権尊重の精神と実践力を育てる取り組みが進められました。また、キッズ・スクール、子ども人権活動地域支援では、地元のボランティアの協力を得て、文化活動・スポーツ・レクリエーション等、子どもたちの意欲を引き出すさまざまな活動を創意工夫しながら実施することができました。				

- 〔子ども人権文化創造事業費〕 6,280,680円
- ・子ども人権文化創造事業委託費 5,400,000円
    - 地域人権教育推進 3,949,000円
    - 人権学習会・クラブ活動等実施(5地域) 計562回、指導者延べ人数 2897人
    - キッズ・スクール 948,000円
    - 文化・スポーツ・レクリエーション活動実施(4地域) 計153回、指導者延べ人数 402人
    - 子ども人権活動地域支援 503,000円
    - 児童集会所開放実施 265回(4地域平均)、支援者(ボランティア)延べ人数 296人
  - ・学習機材・資料充実費 880,680円
    - パソコン、インターネット等学習環境整備(各人権プラザ5台)

**その他経費**

- 〔人権教育学習機会提供・充実事業費〕(研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集) 3,219,690円
- 〔人権教育・学習環境整備事業費〕(学校人権教育の手引き・人権学習教材・パソコン使用料他) 1,046,566円
- 〔自主人権活動支援・充実事業費〕(四日市人権・同和教育研究会事業費補助金) 1,260,000円

**(教育支援課〔旧教育センター〕)**

- 〔学校図書館ネットワーク事業費〕 6,056,610円

(政策課)

〔看護系大学設立支援事業費〕	100,000,000円
〔四日市看護医療大学奨学資金〕	30,210,000円

目4 教育・視聴覚センター費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
169,795,000円	157,536,232円	92.8%	0円	12,258,768円

(教育支援課〔旧教育センター〕)

目的	情報教育の推進				
指標	教職員へのパソコンの活用に関するアンケートによるプラス評価	目標	満足度 80%	実績	満足度 82% (18年度 80%)
説明	<p>情報教育と、教科学習でのより一層のIT活用を推進するために、授業実践、情報モラル教育などの研修の充実と、小学校における情報モラル教育についての研究を行い、サポートブックの作成を行いました。また、小学校のコンピュータ教室の環境整備のためのワーキンググループにおいて、より効果的な機器整備について検討を行ってきました。</p> <p>これらの結果、満足度は目標を達成することができました。引き続き情報教育環境の整備に努めます。</p>				

〔教育情報通信システム運営費〕 129,810,915円

目的	学校・園での生活に不応を起している子ども並びに障害のある子どもに対する支援				
指標	教育相談を実施した保護者へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 90%	実績	満足度 95% (18年度 86%)
説明	<p>平成19年度も引き続き、学校・園・保護者からの要請に応じて教育相談活動を実施しました。本年度は「障害のある子どものための教育相談事業」において、市内私立を含む全保育園・幼稚園及び小・中学校を対象とし、相談支援体制を充実させました。子どもの状態に応じて学校や専門機関、医療機関と連携を図りながら相談支援を行った結果、目標の満足度を達成することができました。今後も関係機関と連携を図りながら相談支援体制の充実に努めます。</p>				

〔教育センター事業費〕 5,971,163円

・教育相談事業費

相談件数等

来所相談件数	相談延回数	訪問相談回数
222件	1806回	551回

関係機関との連携件数

相談機関	医療機関
14件	12件

目的	教職員の多様なニーズと課題解決のための研修を推進				
指標	研修会に参加した教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 90%	実績	満足度 97% (18年度 94%)
説明	<p>本市の教育課題に即した特色ある研修事業として、基本研修(「基礎研修」「職能研修」)、専門研修(「教科等に関する研修」「領域等に関する研修」「重点教育課題研修」「カリキュラム研修」「ステップアップ研修」)、特別研修等に分類し、計121講座160日の研修を実施しました。その結果、研修参加者は8,213人となりました。</p> <p>また、実践的指導力の向上を目指して連続講座、実技・演習型、参加・体験型の研修会を数多く設定したため、研修会参加者に対するアンケート調査の結果における満足度も97%と高い評価となり、目標を達成することができました。</p>				

〔教育センター事業費〕 3,744,592円

・教職員研修費(講師報償費、使用料)

3,176,432円

・三泗乳幼児教育研修事業費

568,160円 (その他特財 125,000円)

目的	学校・園における教育課題解決のための研究を推進				
指標	課題研究に対する教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 95% (18年度 84%)
説明	国立教育政策研究所の指導・助言を受け、「生徒用人権教育教材の活用」「センター研修の在り方」「英語活動」「教育評価」「情報モラル教育」「特別支援教育」「不登校児童生徒の支援」について7本の今日的な教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配布しました。また、課題研究に対する教職員へのアンケートによる満足度は、95%となり、目標を達成することができました。 今後も、研究の継続と発展及び研究と研修の一体化を図るため、引き続き、人権・同和教育、研修効果、教育評価、英語活動、不登校児童生徒への支援等に関する研究を行い今日的な教育課題解決のための研究推進を図ります。				

〔教育センター嘱託研究事業費〕 141,000円  
 〔教育センター事業費〕 2,044,667円  
 ・教育課題等研究調査費 684,667円  
 ・教職員研修費（嘱託研究校・園事業費） 760,000円  
 ・重点課題研究推進校事業費 600,000円  
 〔視聴覚ライブラリー事業費〕 2,706,895円（その他特財 498,000円）  
 〔視聴覚センター事業費〕 499,800円  
 生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、液晶ビデオプロジェクター、教材用ビデオテープ等の視聴覚機器・教材の整備を行いました。

区 分	保 有 数		利 用 状 況			
	購入数	保有総数	学校教育	社会教育	その他	計
16ミリフィルム	0	1206	14	8	15	37
DVD,ビデオテープ	49	1506	224	206	59	489

区 分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	3	0	0
液晶プロジェクター	9	201	640
スライド映写機	2	3	11

購入数は保有総数の内数

#### 実技講習会実施状況及び応募状況

講習会名称	ワード	インターネット	エクセル	パソコン入門
講習会開催回数	2回	2回	2回	2回
定 員	80人	80人	80人	80人
応 募 数	111人	130人	172人	192人

〔適応指導教室事業費〕 8,408,966円（その他特財 1,323,000円）  
 ・第1 適応指導教室 5,323,413円  
 ・第2 適応指導教室 3,085,553円  
 〔不登校児童生徒支援ボランティア事業費〕 706,182円

引きこもりがちな不登校児童生徒に対し、「兄・姉」に相当する世代で教育・福祉に熱意と情熱のある学生をボランティアとして家庭や適応指導教室に派遣し、児童生徒とのふれあいを通して、良き相談者としての関係を作るとともに、自立に向けた支援活動を行いました。

開級日数	通級生 69人					
	復 帰	進 学	就 職	再相談	再入級	その他
202日	14人	25人	1人	3人	23人	3人

#### 家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰	進 学
3 件	27 回	1人	1人

#### ふれあいフレンド活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
学習支援	133人	118回
体験活動支援	58人	54回



**その他経費**

〔負担金〕	1,147,000円
・三泗教育研修運営委員会	1,100,000円
・全国教育研究所連盟等	47,000円

**項2 小学校費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,715,331,000円	2,659,960,751円	98.0%	0円	55,370,249円

**目1 学校管理費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,695,161,000円	1,655,914,266円	97.7%	0円	39,246,734円

〔一般職給〕	59人	465,292,254円
〔嘱託職給〕	38人	124,661,005円

**(教育総務課)**

〔学校管理運営費〕	154,360,625円
・一般管理運営費(事務補助及び給食調理員賃金等)	
〔学校給食管理運営費〕	
・給食調理員派遣業務委託費	6,738,120円

**(学校教育課)**

目的	健康診断の充実				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (18年度99.9%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、児童の健康維持、管理に努めています。19年度の受診率は99.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで児童の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	47,936,930円
・校医 50人	24,613,210円
・歯科医 50人	19,039,720円
・薬剤師 40人	4,284,000円
〔学校保健衛生管理費〕	35,152,299円
・児童健康診断費	

目的	安全で安価な給食の提供				
指標	一食当たり人件費	目標	190円	実績	217円 (18年度 198円)
説明	安全で安心できる学校給食を提供するため、調理員への衛生指導や研修会等を定期的実施するほか、学校訪問による給食指導を行いました。また、食材の選定や発注を担う給食協会に対しては、サンプル検討会等を実施し、給食の質の確保に努めました。なかよし給食の維持とともに、調理業務の民間委託化を図るなど効率化を目指していきます。平成19年度に人件費単価が上がったのは、平成19年10月から市立四日市病院の調理業務委託により調理員が配置転換されたため、一時的に正規調理員が増員となったことによります。				

〔学校給食管理運営費〕	84,657,010円
・学校給食業務運営費	19,416,657円
・なかよし給食事業費	8,902,296円
(塩浜・三浜、三重北・八郷西、高花平・小山田)	

- ・給食調理業務委託 (中部西、大谷台) 8,803,184円
- ・給食従事者健康診断費 1,181,909円
- ・一般管理運営費(消耗品、ガス等) 46,352,964円
- 〔学校管理備品整備費〕 9,483,390円
- ・一般給食備品(給食室備品)

### その他経費

- 〔学校管理運営費〕 320,535,307円
  - ・一般管理運営費 光熱水費等経常経費
- 〔学校管理備品整備費〕 22,143,358円
  - ・一般備品整備費(印刷機、キャビネット等管理備品費) 21,281,168円
  - ・一般保健室備品 862,190円
- 〔学校保健衛生管理費〕 21,248,175円
  - ・教職員健康診断費 3,616,911円
  - ・一般管理運営費(保健用消耗品、災害共済給付金等) 17,631,264円 (その他特財 10,509,688円)
- 〔負担金〕 20,757,057円
  - ・学校災害賠償補償保険料等 1,665,822円
  - ・日本スポーツ振興センター共済掛金 17,118,310円 (その他特財 7,707,760円)
  - ・三重県学校保健会 275,445円
  - ・全国連合小学校長会等 1,697,480円

### (教育施設課)

目的	施設の適正な維持管理整備				
指標	補修計画実施率	目標	100%	実績	190% (18年度 122%)
説明	施設の機能を維持するためには、適切な維持管理補修等を十分行うことが必要であり、保守点検、清掃管理等については定期的を実施しました。一方、施設の補修については、適切な補修工事を計画を立てて施工し、学校からの要望も可能な限り反映して、結果として、当初計画を上回る補修工事を実施し、適切な維持管理に努めました。老朽化している施設が増加している中で、一斉に全面更新を行うことは困難であり、今後も優先度、補修・改修内容、方法等を十分勘案して、効果的、効率的な執行に心がけ、適正な維持管理に努めます。				

- 〔学校管理運営費〕 303,101,000円
  - ・施設維持管理費 92,039,097円
  - ・施設補修費 192,780,777円
    - 補修工事数 計620件
  - ・PFI学校施設管理費 18,281,126円
    - 富田小学校
- 〔通学路交通安全施設整備事業費〕 19,995,278円
  - カーブミラー 40箇所、転落防止柵 19箇所、注意喚起看板 246枚等の整備

### その他経費

- 〔学校管理運営費〕 19,819,533円 (その他特財 1,350,553円)
  - ・一般管理運営費(土地使用料等)

## 目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
219,044,000円	207,650,963円	94.8%	0円	11,393,037円

**(学校教育課)**

目的	特別支援学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	70人	実績	75人 (18年度 79人)
説明	知的障害児、情緒障害児、肢体不自由児に対して、移動・身辺処理・安全配慮などの対応・支援等が要求される特別支援学級に介助員を配し、特別支援教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置に努めていきます。また、平成19年度から、通常の学級に在籍する軽度発達障害の児童に対しての個別の支援のために、特別支援教育支援員を配置し、各校の要望に応じています。				

〔特別支援学級児童介助費〕 77,188,683円  
 〔特別支援教育支援員費〕(6人) 4,164,380円

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	11校	実績	10校 (18年度10校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕 16,849,999円

**その他経費**

〔教材・教具整備費〕 1,714,623円 (国庫支出金 721,000円)  
 〔要保護準要保護児童就学援助費〕 100,852,517円 (国庫支出金 711,000円)  
 〔特別支援教育就学奨励費〕 5,879,511円 (国庫支出金 1,854,000円)

**目3 学校建設費**

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
801,126,000円	796,395,522円	99.4%	0円	4,730,478円

**(教育施設課)**

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 教室不足数	目標	教室不足校 0	実績	0校
説明	【校舎増築】一時的に教室不足が発生している泊山小学校について、17年度末から仮設校舎のリースを継続しています。				

〔校舎増築事業費〕 2,929,500円

目的	学校施設環境の向上				
指標	(校舎改築) 整備校数	目標	1校	実績	1校 (18年度2校)
	(ストックマネジメント) 調査校数		40校		40校
説明	【校舎改築】楠小学校について、18年度に老朽化校舎の改築工事に着手し、19年度に完成しました。 【ストックマネジメント調査】全小学校の施設設備の調査・診断を行い、長期保全計画の策定を行います。19年度は、計画どおり、現地調査などにより施設保全台帳の整備を行いました。				

〔楠小学校改築事業費〕 512,879,050円 (国庫支出金 118,854,000円)  
 〔北校舎改築工事、改築工事監理業務委託、仮設校舎リース〕 (市債 310,900,000円)  
 〔河原田小学校改築事業費〕 12,538,050円  
 改築工事のための地質調査・設計業務

〔その他施設整備費〕	10,746,750円
・四日市市教育施設長期保全計画作成業務（ストックマネジメント）委託	
〔大規模改造整備事業費〕	3,360,000円
大規模改修工事（下野小学校）のための設計業務	
〔PFI学校施設整備費〕	39,117,822円
富田小学校	

目的	安全安心の施設整備				
指標	(給食室・バリアフリー化)整備率	目標	(給食室改修)80%	実績	80% (18年度 78%)
	(耐震)調査率		(バリアフリー化整備)80%		80% (18年度 75%)
			(小規模施設耐震調査)100%		100%
説明	<p>【給食室改修】学校給食の安全のため、室内の作業区域別化のための間仕切、床排水の改修、食品庫改修等の工事を海蔵小学校にて施工しました。</p> <p>【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活を送れる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を、計画どおり浜田小学校、中央小学校、三重西小学校の3校にて施工しました。</p> <p>【小規模施設耐震調査】小学校20校の平屋建て小規模施設について、計画どおり耐震診断調査を実施しました。</p>				

〔給食室改修費〕	33,199,950円	(市債)	30,300,000円)
海蔵小学校			
〔バリアフリー化施設整備費〕	80,545,605円	(国庫支出金	8,733,000円)
浜田小学校、中央小学校、三重西小学校		市債	50,700,000円)
〔小規模施設耐震調査事業費〕	11,315,850円	(国庫支出金	2,165,000円)
三浜小学校他19校			
〔その他施設整備費〕	32,373,600円		
・海蔵小学校給食室改修関連工事	30,095,100円		
・浜田小学校フェンス設置工事	2,278,500円		

目的	快適環境整備				
指標	扇風機整備率 (普通教室)	目標	100%	実績	100% (18年度 35%)
説明	<p>快適な学習環境づくりを推進するため、小学校26校の普通教室に扇風機を設置し、計画していた全小学校の普通教室への扇風機の設置を完了しました。</p>				

〔その他施設整備費〕	16,316,433円
・扇風機設置工事(26小学校)	

### その他経費

〔その他施設整備費〕	26,978,700円	(国庫支出金	605,000円)
・楠小学校カーテン設置工事	4,020,450円		
・桜小学校雨水排水改修工事	4,012,050円		
・その他23工事等	18,946,200円		
〔校舎等譲受費〕	9,529,620円		
笹川西小学校			
〔事業事務費〕	4,564,592円		
・一般職給1人	1,524,617円		
・その他事務費	3,039,975円		

### 項3 中学校費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
847,009,000円	836,329,643円	98.7%	0円	10,679,357円

## 目1 学校管理費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
547,002,000円	541,990,970円	99.1%	0円	5,011,030円

〔嘱託職給〕 18人 64,350,900円

### (教育総務課)

〔学校管理運営費〕 10,724,311円

・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

### (学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (18年度 99.9%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、生徒の健康維持、管理に努めています。19年度の受診率は99.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで生徒の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 22,938,750円

・校医 24人 11,647,350円

・歯科医 24人 9,029,400円

・薬剤師 22人 2,262,000円

〔学校保健衛生管理費〕 15,637,215円

・生徒健康診断費

### その他経費

〔学校管理運営費〕 198,101,012円

・一般管理運営費  
光熱水費等経常経費

〔学校管理備品整備費〕 12,831,843円

・一般備品(印刷機、コピー機等管理備品費)

12,352,853円

・一般保健室備品 478,990円

〔学校保健衛生管理費〕 20,519,187円

・教職員健康診断費 2,172,126円

・一般管理運営費(保健用消耗品、災害共済給付金等)

18,347,061円(その他特財 15,051,059円)

〔学校給食管理運営費〕 98,280円

・一般管理運営費

〔負担金〕 10,874,534円

・学校災害賠償補償保険料等 782,109円

・日本スポーツ振興センター共済掛金 7,954,930円(その他特財 3,548,440円)

・三重県学校保健会 128,475円

・下水道受益者負担金 1,066,540円

・全日本中学校長会等 942,480円

### (教育施設課)

目的	教育施設の適正な維持管理整備				
指標	補修計画実施率	目標	100%	実績	126% (18年度 124%)
説明	施設の機能を維持するためには、適切な維持管理補修等を十分行うことが必要であり、保守点検、清掃管理等については定期的に実施しました。一方、施設の補修については、適切な補修工事を計画を立てて施工し、学校からの要望も可能な限り反映して、結果として、当初計画を上回る補修工事を実施し、適切な維持管理に努めました。老朽化している施設が増加している中で、一斉に全面更新を行うことは困難であり、今後も優先度、補修・改修内容、方法等を十分勘案して、効果的、効率的な執行に心がけ、適正な維持管理に努めます。				

〔学校管理運営費〕 177,630,045円

・施設維持管理費 48,108,675円

・施設補修費	80,811,835円
補修工事数 計250件	
・PFI学校施設管理費	48,709,535円
南中学校、橋北中学校、港中学校	

#### その他経費

〔学校管理運営費〕	8,284,893円（その他特財	355,503円）
・一般管理運営費（土地使用料）		

### 目2 教育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
97,493,000円	93,538,985円	95.9%	0円	3,954,015円

#### （学校教育課）

目的	特別支援学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	25人	実績	23人 (18年度 22人)
説明	知的障害児、情緒障害児、肢体不自由児に対して、移動・身辺処理・安全配慮などの対応・支援等が要求される特別支援学級に介助員を配し、特別支援教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる生徒が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置に努めていきます。また、平成19年度から、通常の学級に在籍する軽度発達障害の生徒に対しての個別の支援のために、特別支援教育支援員を配置し、各校の要望に応えています。				

〔特別支援学級生徒介助費〕	24,370,081円
〔特別支援教育支援員費〕（2人）	1,088,516円

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	2校	実績	1校 (18年度 1校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりました。今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」：学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				

〔学校図書館図書整備事業費〕	14,914,745円
----------------	-------------

#### その他経費

〔教材・教具整備費〕	1,624,455円	（国庫支出金	627,000円）
〔要保護準要保護生徒就学援助費〕	48,062,295円	（国庫支出金	898,000円）
〔特別支援教育就学奨励費〕	2,633,888円	（国庫支出金	765,000円）

### 目3 学校建設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
202,514,000円	200,799,688円	99.2%	0円	1,714,312円

#### （教育施設課）

目的	学校施設の充実				
指標	（校舎増築） 教室不足数	目標	教室不足校 0	実績	0校
説明	【校舎増築】一時的に教室不足が発生している内部中学校について、18年度から仮設校舎のリースを継続しております。				

〔校舎増築事業費〕	2,688,000円
-----------	------------

目的	学校施設環境の向上				
指標	調査校数	目標	22校	実績	22校
説明	【ストックマネジメント調査】全中学校の施設設備の調査・診断を行い、長期保全計画の策定を行います。19年度は、計画どおり、現地調査などにより施設保全台帳の整備を行いました。				

〔その他施設整備費〕	3,891,300円	・四日市市教育施設長期保全計画作成業務（ストックマネジメント）委託
〔大規模改造整備事業費〕	4,567,500円	大規模改修工事（山手中学校）のための設計業務
〔中学校給食施設整備事業費〕	2,269,050円	20年度中学校5校での給食実施に必要な改修工事のための設計業務
〔PFI学校施設整備費〕	82,354,568円	南中学校、橋北中学校、港中学校

目的	安全安心の施設整備				
指標	(バリアフリー化)整備率  (耐震)調査率	目標	(バリアフリー化整備) 88%  (小規模施設耐震調査) 100%	実績	88% (18年度 79%)  100%
説明	【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活を送れる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を、計画どおり内部中学校、常磐中学校、山手中学校の3校にて施工しました。 【小規模施設耐震調査】中学校7校の平屋建て小規模施設について、計画どおり耐震診断調査を実施しました。				

〔バリアフリー化施設整備費〕	86,848,970円	〔 国庫支出金 13,734,000円 〕
内部中学校、常磐中学校、山手中学校		〔 市債 50,900,000円 〕
〔小規模施設耐震調査事業費〕	3,465,000円	(国庫支出金 966,000円)
塩浜中学校他6校		

#### その他経費

〔その他施設整備費〕	4,151,700円	笹川中学校バックネット改修工事 他4工事
〔校舎等譲受費〕	951,740円	西笹川中学校
〔事業事務費〕	9,611,860円	
・一般職給 1人	8,670,101円	
・その他事務費	941,759円	

#### 項4 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
923,893,000円	911,150,123円	98.6%	0円	12,742,877円

#### 目1 幼稚園費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
923,893,000円	911,150,123円	98.6%	0円	12,742,877円

〔一般職給〕	81人	581,095,320円
〔再任用職給〕	1人	2,210,004円
〔嘱託職給〕	16人	57,667,959円

(教育総務課)

〔園管理運営費〕 154,001,992円 (その他特財 92,382,177円)  
・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

(学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.4 % (18年度 98.9%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、園児の健康維持、管理に努めています。19年度の受診率は99.4%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで園児の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 13,286,989円  
 ・園医 23人 6,106,230円  
 ・歯科医 23人 5,740,759円  
 ・薬剤師 24人 1,440,000円  
 〔園保健衛生管理費〕 603,212円  
 ・園児健康診断費

〔その他経費〕

〔園管理運営費〕 37,058,324円 [ その他特財 36,856,324円  
国庫支出金 202,000円 ]  
 ・一般管理運営費  
 光熱水費等経常経費  
 〔園管理備品整備費〕 4,695,704円  
 ・一般備品整備費  
 〔園保健衛生管理費〕 2,664,043円 (その他特財 443,108円)  
 ・一般管理運営費(保健用消耗品費、災害共済給付金等)  
 〔負担金〕 911,807円  
 ・学校災害賠償補償保険料等 148,462円  
 ・日本スポーツ振興センター共済掛金 478,195円 (その他特財 218,835円)  
 ・全国国公立幼稚園長会等 261,105円  
 ・三重県学校保健会負担金 24,045円

(教育施設課)

目的	教育施設の適正な維持管理整備				
指標	補修計画実施率	目標	100%	実績	133% (18年度 101%)
説明	施設の機能を維持するためには、適切な維持管理補修等を十分行うことが必要であり、保守点検、清掃管理等については定期的を実施しました。一方、施設の補修については、適切な補修工事を計画を立てて施工し、園からの要望も可能な限り反映して、結果として、当初計画を上回る補修工事を実施し、適切な維持管理に努めました。老朽化している施設が増加している中で、一斉に全面更新を行うことは困難であり、今後も優先度、補修・改修内容、方法等を十分勘案して、効果的、効率的な執行に心がけ、適正な維持管理に努めます。				

〔園管理運営費〕 45,649,422円  
 ・施設維持管理費 9,521,026円  
 ・施設補修費 36,128,396円  
 補修工事数 計145件

〔その他経費〕

〔園管理運営費〕 873,960円 (その他特財 160,217円)  
 ・一般管理運営費(土地使用料)

目的	学校施設環境の向上				
指標	調査校数	目標	23園	実績	23園
説明	【ストックマネジメント調査】全幼稚園の施設設備の調査・診断を行い、長期保全計画の策定を行います。19年度は、計画どおり、現地調査などにより施設保全台帳の整備を行いました。				

〔その他施設整備費〕 1,111,950円  
 ・四日市市教育施設長期保全計画作成業務(ストックマネジメント)委託



目的	安全安心の施設整備				
指標	(耐震)調査率	目標	(小規模施設耐震調査) 100%	実績	100%
説明	【小規模施設耐震調査】幼稚園 8園の平屋建て小規模施設について、計画どおり耐震診断調査を実施しました。				

〔小規模施設耐震調査事業費〕 5,986,050円 (国庫支出金 805,000円)  
四日市幼稚園他 7園

#### その他経費

〔その他施設整備費〕 880,950円  
扇風機設置工事(5園)

### 項5 社会教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
1,031,508,000円	1,012,084,164円	98.1%	0円	19,423,836円

#### 目1 社会教育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
472,304,600円	468,954,177円	99.3%	0円	3,350,423円

〔一般職給〕 38人 339,009,532円 (その他特財 31,263,767円)  
〔嘱託職給〕 17人 58,231,601円 (その他特財 3,607,244円)

#### (社会教育課)

目的	市民・有識者の意見反映				
指標	会議の開催回数	目標	3回以上	実績	3回 (18年度 4回)
説明	社会教育委員会議を「子どもの生活リズム向上の取組みについて」等をテーマに2回開催しました。また、17年3月に策定した「子どもの読書活動推進計画」に基づき、市民を中心とした推進会議を1回開催しました。				

〔委員報酬〕 118,500円  
・社会教育委員 10人  
〔委員報償費〕 42,900円  
・子どもの読書活動推進計画推進会議委員 8人  
〔社会教育指導者研修費〕 124,175円  
社会教育委員等の研修

#### その他経費

〔子どもの読書活動推進事業〕 152,785円  
四日市市子どもの読書活動推進計画をもとに啓発行事等を実施  
〔成人の日行事開催費〕 3,031,953円  
参加者数 約2,300人  
〔各種団体活動費〕 200,000円  
・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金  
〔負担金〕 60,000円  
・三重県社会教育委員連絡協議会  
〔一般経費〕 203,869円

目的	文化財の保護と活用				
指標	新規指定件数 文化財説明板の更新・ 新設	目標	指定 1件 更新・新設 2件	実績	指定1件(18年度2件) 新設0件(18年度1件) 更新4件(18年度2件)
説明	個人所有の「四日市宿本陣清水家文書」を市の有形文化財(古文書)に指定し、貴重な文化遺産の保存を図りました。また、文化財説明板の更新を行い、市民の文化財の学習や見学の一助としました。				

〔委員報酬〕	181,700円		
・文化財保護審議会委員 11人			
〔文化財維持管理事業費〕	6,314,989円		
・文化財維持管理事業費	1,183,563円		
指定文化財の管理			
・旧四郷出張所維持管理事業費	2,195,226円		
・天然記念物維持管理事業費	2,825,200円		
御池沼沢、アイナシ・イヌナシ自生地の草刈、木の伐採			
・文化財調査事業費	111,000円		
専門委員による調査			
〔文化財保存対策事業費〕	3,433,820円		
・指定文化財保存事業費補助金	2,246,000円	（その他特財	1,983,000円）
「市場町獅子舞」「東日野町大念佛」「大入道山車」			
「絹本著色釈迦三尊十六善神像」「富田一本松」「伊勢安国寺跡」			
・ふるさとの道維持管理事業	1,187,820円		
「四郷ふるさとの道」トイレ等の管理			
〔負担金〕	60,000円		
・全国近代化遺産活用連絡協議会負担金	20,000円		
・全国史跡整備市町村協議会負担金	40,000円		

目的	埋蔵文化財の保護と活用				
指標	発掘展来場者数	目標	900人以上	実績	880人 (18年度850人)
説明	発掘調査の成果を公開するため、夏休みに市立博物館において主に前年度発掘した市内の出土品を展示する発掘展を開きました。そこでは実物の土器等を見るだけでなく実際に触れて確かめるコーナーも設け、より親しみを持ってもらえるようにしました。				

〔埋蔵文化財保護事業費〕	4,541,206円	（その他特財	54,600円）
出土遺物の復元・整理等			
〔埋蔵文化財発掘調査受託事業〕	36,583,958円	（その他特財	36,583,958円）
北勢バイパス発掘調査費			
〔久留倍遺跡保存活用事業〕	16,660,051円		
・北勢バイパス附帯工事業費	16,144,869円	（市債	14,800,000円）
横断地下道・横断暗渠工事委託、スロープ部分発掘調査報告書作成			
・史跡整備事業費	515,182円		
排水・草刈等の史跡維持管理			

## 目2 青少年教育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
121,799,000円	112,273,296円	92.2%	0円	9,525,704円

### （社会教育課）

目的	親と子どもの豊かな育ちを支援する				
指標	家族のコミュニケーションについての満足度	目標	80%以上	実績	83% (18年度 74%)
説明	地域や家庭の教育力の向上を図るため、「親と子どもの豊かな育ち」をスローガンとし、学力向上も踏まえた「生活リズムの向上」、非行防止につながる「規範意識の向上」、有害情報や登下校時の危険から子どもを守るための「安全・安心」の3本柱を重点においた取り組み事業を推進し、家庭教育及び学校教育への支援を行いました。内容としては、幼・小・中生活リズム推進委員会に学校・家庭・地域が連携した実践活動を委託したほか、生活実態調査を行い、その分析結果を元に検証しました。また、非行防止教室、有害情報研修会等を開催し、啓発活動を行いました。生活実態調査の結果、家庭教育力向上の指標となる「家族のコミュニケーション」についての満足度は83.0%となり、目標を達成することができました。				

〔家庭教育振興事業費〕	5,066,865円
・親と子どもの豊かな育ち事業費	5,066,865円
生活リズム・非行防止教室等の実施（64校園）	

有害情報対策研修会の実施（年2回開催 参加者数延べ841人）  
 四日市市PTA連絡協議会（86単位PTA）及び18の私立幼稚園・小中学校へ委託事業として家庭教育講座を実施（141回開催 参加者数延べ13,007人）

目的	地域の青少年育成活動を促進する				
指標	子ども会児童加入率	目標	75%以上	実績	74.7% (18年度 75.8%)
説明	子どもたちが異年齢集団による遊びや体験活動を通じて社会性、協調性が養われるよう子ども会育成者連絡協議会に対し、子ども会の意義の再認識、魅力ある活動づくりなど活性化を図るよう支援を行いました。少子化及び子ども会・育成会離れが進み、加入率は、年々減少傾向にあり、19年度は74.7%となり、わずかながら目標を達成することができませんでしたが、引き続き活性化を図るよう支援を行っていきます。 また、子どもの体験活動を実践している市民団体等が企画・運営する体験活動に対してその経費の一部を助成し、青少年の集団活動や体験活動を支援しました。				

- 〔青少年健全育成事業費〕 6,909,048円
  - ・青少年体験活動促進事業 795,512円  
青少年を対象として市民団体等が企画・実施する青少年体験活動を募集し、その経費の一部を助成するとともに、青少年体験活動フェスティバルを開催（助成団体 6団体：参加者数延べ612人）
  - ・青年リーダー研修費 425,471円  
子ども会や地域の活動における、年少者リーダーとなる青少年（小学5年生から高校生）を募集し、ジュニアリーダー等養成講習会を開催しました。（開催日数7日：参加者数51人）
  - ・子ども広場整備事業費補助金 5,447,090円  
民間の団体または有志者が設置する子ども広場の整備事業に対してその経費の一部を補助しました。（新設1ヶ所、増設2ヶ所、補修19ヶ所、危険防止1カ所）（19年度未設置箇所 205カ所）
  - ・子ども緊急避難所設置推進事業費 240,975円  
「こどもをまもるいえ」の設置を推進（市内34団体11,307カ所）  
「子ども110番みまもりたい」活動の推進（協力車両数662台）
- 〔補助金〕 2,600,000円
  - ・四日市市子ども会育成者連絡協議会運営費補助金 1,500,000円
  - ・四日市市青少年育成市民会議運営費補助金 1,000,000円
  - ・青少年団体運営費補助金 100,000円
    - ボーイスカウト・ガールスカウト四日市地区協議会 50,000円
    - 四日市海洋少年団 50,000円

目的	青少年の非行防止を支援する				
指標	補導員による街頭補導実施回数	目標	年間延べ480回以上	実績	年間延べ 429回 (18年度 年間延べ424回)
説明	中央補導員、三四地区広域補導員を中心に、ライオンズクラブ、警察等と協働して繁華街・駅・公園・ゲーム場など青少年が多く集まる場所を巡回して、指導・助言を行うことを主な内容とした街頭補導活動を行いました。 補導した少年は、前年度と比較して大幅に減少し、小中学生の補導件数も減少しましたが、依然として、非行の低年齢化が懸念されることから、学校・幼稚園での非行防止教室（万引き防止教室）を開催（延べ22回）し、青少年の非行防止に努めました。				

- 〔委員報酬〕 118,500円
  - ・青少年問題協議会委員 8人（年2回開催）
- 〔青少年相談事業費〕 392,720円
  - ・青少年相談員研修費
- 〔青少年健全育成事業費〕 3,134,557円
  - ・子どもと若者の居場所づくり事業費  
勤労青少年ホームにおいて、毎週土・日曜日に、総合会館において第1～3日曜日に開所（利用者数延べ2,724人）
- 〔補導員報償費〕 1,267,000円
- 〔補導団体等運営費補助金〕 170,000円
  - ・中央補導員協議会 100,000円
  - ・地区補導代表者会 70,000円

### 青少年の補導状況

区分	補導少年延人数					相談回数		
	小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
H18	62人 (21.8%)	63人 (22.2%)	129人 (45.4%)	30人 (10.6%)	284人 (100%)	15回	58回	73回
H19	27人 (11.1%)	38人 (15.7%)	96人 (39.7%)	81人 (33.5%)	242人 (100%)	16回	57回	73回

目的	留守家庭児童の保育活動を支援する				
指標	学童保育所の利用児童数	目標	28箇所 827人/月	実績	29箇所 945人/月 (18年度 25箇所 814人/月)
説明	保護者の就労等により、放課後及び学校休業日の昼間に留守家庭となる児童の保育、健全育成を目的に運営委員会が設置・運営する学童保育所に対して、その経費の一部補助等を行いました。 また、建築費補助等により、笹川学童保育所の新築及び20年度開所する神前学童保育所の設備改修を支援しました。 平成19年度は、新たに八郷、羽津、保々、水沢学童保育所が開所しました。				

〔青少年健全育成事業費〕 89,323,304円 (県支出金 51,087,000円)

- ・学童保育事業費補助金 88,455,709円 (県支出金 50,509,000円)  
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原  
浜田・大矢知・泊山・富田・三重・河原田・三重西・楠・中部西・塩浜・八郷西・八郷・羽津  
保々・水沢 (19年度未現在開設箇所 29箇所)
- ・放課後子ども教室推進事業費 867,595円 (県支出金 578,000円)

#### その他経費

- 〔青少年一般経費〕 2,982,900円
- 〔環境浄化標語看板製作委託〕 133,402円
- 〔負担金〕 175,000円
  - ・三泗地区広域補導協議会 160,000円
  - ・三重県青少年補導センター連絡協議会 15,000円

### 目3 公民館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
26,496,000円	25,650,180円	96.8%	0円	845,820円

#### (市民生活課〔旧市民文化課〕)

#### その他経費

- 〔公民館一般経費〕 1,908,393円
- 〔負担金〕 323,900円
  - ・三重県公民館連絡協議会等

#### (社会教育課)

目的	地域の社会教育活動への支援				
指標	教室開放年間利用回数	目標	4,110回以上	実績	4,868回 (18年度 4,109回)
説明	住民の学習活動、地域活動を推進するため、学校施設の教室開放を行いました。				

〔学校開放事業費〕 1,260,000円 (その他特財 379,500円)

(楠プラザ)

目的	市民が主体となる生涯学習活動を支援する。				
指標	楠プラザに関わる事業の総参加者数	目標	32,000人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 2,900人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 20,800人 資料館来館者 5,000人	実績	35,665人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 3,500人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 22,755人 資料館来館者 6,110人 (18年度 32,126人)
説明	生涯学習の拠点として、地域の再発見や自然に親しむ教室など、年間を通じて多彩な講座を開催し、市民の出会いや仲間づくりを促進するとともに、市民の生涯学習活動を支援しました。図書室では、読書傾向を把握し社会情勢に対応した蔵書の購入を図る一方、新刊案内や予約システムのPRをホームページで行うなど情報提供に努めるとともに、幼児対象の読みかせ等を定期的に行うことにより、利用者数及び貸出冊数ともに目標を上回ることができました。今後も地域住民の学習ニーズや課題を把握し学習支援を行います。				

〔楠公民館事業費〕	897,510円(その他特財 509,760円)
公民館フェスティバル、市民の年齢層に応じた多様な講座の開催や文化祭等への支援	
〔楠公民館図書室事業費〕	3,053,931円
〔楠公民館管理運営費〕	8,124,841円(その他特財 30,924円)
〔楠公民館一般経費〕	10,081,605円

図書室利用状況

区分	貸出利用者数	貸出冊数	読み聞かせ等の開催回数	参加者数
平成19年度	22,755人	108,156冊	60回	941人
平成18年度	20,996人	98,370冊	63回	1,553人

目4 図書館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
153,278,000円	150,666,437円	98.3%	0円	2,611,563円

(図書館)

目的	市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す				
指標	蔵書数	目標	422,000冊以上	実績	416,443冊 (18年度404,639冊)
	図書館利用者数(本館入館者数)		287,000人以上		270,304人 (18年度270,320人)
	貸出冊数		873,686冊以上		870,885冊 (18年度873,686冊)
説明	平成19年度は、図書館情報システムの新システム移行整備のため開館日数が減少し、その結果、利用者数、貸出冊数が目標値を下回りました。また、蔵書冊数も、システム移行に併せて図書資料の整理を行ったため、目標値に至りませんでした。一方、読みたい本をインターネットで検索して予約し、市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室のいずれでも本を受け取り返却もできるように整備した物流システムにおいては、利用が増加しています。図書館の調査相談(レファレンスサービス)については、相談内容も専門化してきたことから、今後も、レファレンスサービスの充実と利用のPR、メールによるレファレンスの実施を行うなど、時代に沿ったサービスの展開を図ってまいります。また、多様化する市民ニーズにあわせた蔵書構成に努めます。なお、今後も子どもの読書活動推進等のため、職員やボランティアによるお話し会や読み聞かせを充実していきます。				

「図書館のあり方調査研究事業」として、平成19年度から経営企画部と連携して「図書館のあり方研究会」を立ち上げ、現在の図書館の抱える課題の整理等を行いました。

〔図書館維持管理費〕	44,918,679円	(その他特財 366,655円)
図書館施設管理委託		
〔図書資料整備費〕	27,918,595円	
図書館資料の購入費		
〔人権啓発拠点事業推進事業費〕	898,014円	
人権関係資料の購入費		
〔図書館運営費〕	9,704,952円	
点字録音資料作成委託、各種講座の実施等		
〔図書管理システム運営費〕	35,037,865円	
図書館情報システム構成機器等借上げ及び保守委託		
〔移動図書館運転業務委託事業費〕	6,951,847円	
移動図書館車運転業務の委託等		
〔移動図書館整備事業費〕	13,477,090円	
移動図書館車の更新		
〔図書館運営業務整備事業〕	10,709,825円	
図書貸出等業務委託、自動貸出機借上げ・移動式書架借上げ		
〔図書館のあり方調査研究事業費〕	812,170円	
先進地視察、フォーラム参加等		

#### その他経費

負担金・委員報酬 237,400円

#### 図書資料状況

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	19年度末蔵書冊数
本館成人図書	11,158	7,835	3,323	260,248
本館児童図書	3,276	570	2,706	73,488
外国語図書(成人・児童)	99	12	87	3,583
本館雑誌(成人・児童)	2,777	2,642	135	19,113
計	17,310	11,059	6,251	356,432
自動車文庫図書	2,809	1,693	1,116	50,657
自動車文庫雑誌	81	161	-80	406
計	2,890	1,854	1,036	51,063
点字資料(冊数)	-	-	-	6,739
録音資料(タイトル数)	-	-	-	2,209
計	-	-	-	8,948
<b>19年度末蔵書冊数総合計</b>				<b>416,443</b>

\*点字・録音資料については、平成19年度より図書館システムでの管理を開始。点字資料は冊数のみ、録音資料はタイトル数のみ。

#### 利用状況

区分	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成18年度	273	270,320	63,441	170,421	873,686	5,194
平成19年度	266	270,304	63,067	167,887	870,885	4,583

平成18年度から5年間利用実績のない登録者を統計上除いている。

#### 目5 少年自然の家費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
66,113,400円	64,996,181円	98.3%	0円	1,117,219円

(少年自然の家)

目的	青少年に野外活動を中心とした活動プログラムの提供や指導及び活動の場を提供する				
指標	利用団体数	目標	335団体 23,800名	実績	300団体 22,873名 (H18年度324団体 23,730名)
説明	<p>市内小中学校の実施する自然教室をはじめ、受け入れ事業では、「ふれあいの森」など少年自然の家の施設を利用した自然体験活動をより多く取り入れることにより、感動する心、自然と共生する心、自主性や協調性などの育成を目指しました。また、主催事業では、これまでの事業をさらに充実させるとともに、引き続き市立博物館や民間の団体、地元地域との連携を図りながら事業を展開し、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを充実させ提供することができました。</p> <p>施設整備においては、分館の空調設備改修工事や宿泊室等の床張替え工事等を行ったほか、利用者が安全かつ快適に過ごせるように、施設内外の維持管理に努めました。なお、利用団体数では、施設の改修工事等により目標を下回りました。</p>				

〔主催事業費〕 939,999円

小・中学生を対象とした事業 10回

アドベンチャースクール	小学5～6年生	80人	5/19～20	登山、パラグライダー体験等
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生	55人	9/8～9	野外炊事、キャンプファイヤー等
ワイルドキャンプ	小学6～中学生	55人	8/7～10	野営、野外炊事等
ゴリラ山チャレンジスクール	小学4～5年生	85人	10/20～21	登山、ナイトハイク等
ウインターフェスタ	小学4～6年生	46人	1/19～20	冬の森探検、野外炊事等
スペースキャンプ	小学4～中学生	81人	12/8～9	プラネタリウム、ネチャークラフト
子ども自然塾	小学4～6年生	26人	4/14 日曜日	春の植物観察、野草天ぷら
子ども自然塾	小学4～6年生	21人	7/21 日曜日	自然観察方法
子ども自然塾	小学4～6年生	13人	11/10 日曜日	ドングリの観察
子ども自然塾	小学4～6年生	8人	2/2 日曜日	冬の森観察

家族・グループを対象とした事業 4回

森の中でテント泊	市内在住家族	69名	6/16～17	テント泊、野外炊事、クラフト
森の中でテント泊	市内在住家族	61名	6/23～24	テント泊、野外炊事、クラフト
秋を食べよう	市内在住家族	84名	11/18 日曜日	秋の味覚試食体験
冬の森とおもちつき	市内在住家族	58名	2/16～17	冬の森観察、おもちつき

教職員・一般を対象とした事業 2回

アウトドアセミナー	教職員,市民	33人	8/23 日曜日	ウォークリ、リスマンアウト研修
アウトドアセミナー	教職員,市民	19人	8/24 日曜日	野外炊事、天文教室
自然教室合同下見会	教職員	中止	9/30 日曜日	

その他 5回

水沢ふるさとウォーク	家族・市民	34人	10/7 日曜日	水沢町内ハイキング
自然の家里山クラブ	小学4～市民	37人	12/22,1/27,3/16	里山保全活動
春の里山まつり	家族・市民	143人	4/21 日曜日	山菜天ぷら、ネチャークラフト

〔受け入れ事業費〕 58,168,522円  
 ・施設管理運営費 37,640,592円 (その他特財15,721,903円)  
   清掃・保守点検費 13,367,970円  
   その他諸費(光熱水費・燃料費等) 20,160,493円  
   リネン・寝具関係費 4,112,129円  
 ・施設整備事業費 20,401,530円  
   分館2階空調設備改修工事、宿泊室床張替工事等  
 ・委員報酬 126,400円  
   運営協議会委員10名

## 利用状況

年度	施設		キャンプ場		市民広場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,953	6,413
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	330	22,745	19,045	3,700
18	190	16,000	42	2,170	94	5,560	324	23,730	18,575	5,155
19	172	15,206	38	1,708	91	5,959	300	22,873	18,065	4,808

平成16年度から、キャンプ場と水沢市民広場（利用申請の数）の利用を区分。

〔環境整備費〕	4,714,681円
・水沢市民広場管理運営費	1,710,966円
・施設管理運営費	3,003,715円
臨時職員賃金	2,626,765円
下草刈委託業務費	376,950円
ふれあいの森で利用者が観察や自然体験活動を安全にできるよう、枯れ松の処理や下草刈り・観察路の整備等を実施しました。	
〔活動支援費〕	1,009,074円
・施設管理運営費	
臨時職員賃金	993,324円
器具修繕費	15,750円
〔広報活動費〕	163,905円
市内小・中学校、児童生徒への主催事業案内チラシ配付や市の広報への記事掲載、少年自然の家利用案内ポスターの配布、ホームページの更新等、広報活動を行いました。	

## 目6 博物館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
191,517,000円	189,543,893円	99.0%	0円	1,973,107円

### （博物館）

目的	市民の創造性を高め、郷土を大切にしたい心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する			
指標	利用者数	目標	140,000人以上	実績
	観覧者満足度（アンケート）		80%以上	141,624人 (18年度 117,439人) 76% (18年度 71%)
説明	博物館に来たことのない人にも足を運んでもらい、利用者の層を広げることを目的に、親しみやすい内容の展覧会やプラネタリウム番組としました。また、教育普及事業や貸館事業などの充実を図り、多彩な事業展開で利用者を増やすよう努めました。その結果、利用者数は前年度を大幅に上回ることができましたが、満足度は目標を達成することはできませんでした。展覧会は、恐竜展やからくり人形展が多くの観覧者を集めました。プラネタリウムもアニメのキャラクター番組が夏休みに子ども達の人気を博したほか、当館の独自性を活かしたオリジナル番組も好評でした。展覧会、プラネタリウムともに前年度の実績を大幅に上回ることができました。また、学校教育への支援を積極的に行っており、特に天文事業については、従来の学校からの団体見学に加えて、移動式プラネタリウムによる中学校との連携授業や立体映像システムによる小学校との連携授業を行い、学校での授業がより豊かなものとなるとともに、近年の理科離れ対策となるよう努めました。学校用の学習支援展示も「昭和はくぶつかん」として規模を拡大して行い、多数の利用がありました。これらの教育普及事業の参加者が増加したほか、市民の生涯学習の成果を発表する場として設けている市民ギャラリーなどの貸館の利用件数も増加しており、展覧会やプラネタリウムの観覧者以外の博物館事業の利用者も増やして、総体的に博物館の利用者層の拡大を図るという取り組みを進めています。			



今後も学校教育及び社会教育の学習支援機関として、より多くの市民に寄与し、資料を収集・保存する博物館の基本的な活動に加えて、市民とともに知の楽しみを分かち合う博物館文化の創造に努めます。

〔自主事業費〕 66,695,650円  
 ・調査研究事業費 623,363円  
 ・特別展等開催費 45,494,620円 (その他特財 17,898,300円)

展覧会  
特別展

展覧会名	実績額	期間	観覧者数
恐竜と生命の大進化	14,289,837	4/21～6/24	15,058
ロンドン発！ゆかいなからくり人形展	8,010,340	7/14～9/2	10,938
伊藤利彦の見た世界	5,103,178	9/15～10/21	1,838
故郷からのおくりもの	7,457,825	11/3～12/9	6,682
昭和はくぶつかん	7,367,510	12/22～3/2	11,464
合計	42,228,690円	219日	45,980人

その他事業 3,265,930円  
 常設展 開館日数 297日 観覧者数 36,001人

・資料収集保存事業費 7,137,184円  
 購入資料 356,250円  
   歴史資料 15点 116,285円  
   文学資料 8点 35,965円  
   美術工芸資料 18点 204,000円  
 <主な購入資料>  
   東海道五十三次浮世絵 18点 204,000円  
 くん蒸作業 2,449,650円  
 (収蔵庫及び展示室のくん蒸、機器の保守点検)

・教育普及活動事業費 1,106,503円 (その他特財 69,600円)  
 講座等実施状況

講座名等	回数	参加者数
ミュージアムセミナー	5	125
子ども博物館教室	19	525
その他	5	156
合計	29回	806人

博物館ボランティア 登録者数 84人  
 学習支援ボランティア 登録者数 15人  
 古文書ボランティア 登録者数 33人

・プラネタリウム投映事業費 11,366,769円 (その他特財 8,584,500円)  
 プラネタリウム  
 季節番組

番組名	実績額	期間	観覧者数
なんてん物語	12,000 (335,809)	4/1～5/27 (2/3～)	592 (1,161)
忍たま乱太郎	12,000 (3,282,569)		1,997 (4,218)
太陽系ふしぎ発見！	391,829	6/2～9/30	3,741
あつまれ！ポケモン・プラネットセンター	2,774,434		12,362
流星群の夜	92,013	10/6～1/27	1,343
ぜんまいざむらい	2,656,114		4,316
ふるさと星物語	727,063 (739,063)	2/2～3/31 (～5/25)	455 (864)
ムーミン谷の物語	1,004,522 (1,010,522)		1,966 (3,598)
星座神話	239,959	4/1～3/31	1,637
合計	7,909,934円	275日	28,409人

( )内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

番組名	実績額	回数	観覧者数
宇宙塾	212,350	4	375
生演奏コンサート	382,140	3	391
CDコンサート	15,089	4	481
アロマと星の旅	54,361	10	283
アロマ付クリスマス特別投映	49,080	3	143
合計	713,020円	24回	1,673人

学習投映番組 投映回数 147回 観覧者数 11,506人(217校園)  
 その他投映・共通経費等 2,743,815円 観覧者数 338人

・天文教育普及活動事業費 967,211円  
 天文教育普及活動事業実施状況

事業名	回数	参加者数
子ども天文教室	3	513
小・中学校連携授業	27	3,203
その他	10	1,069
合計	40回	4,785人

きらら号 出動回数 41回 参加者 4,798人  
 天文ボランティア 登録者数 48人

〔施設管理運営費〕 122,611,543円  
 ・施設設備維持管理費 76,301,736円  
 主な経費  
   清掃警備業務委託 25,578,000円  
   設備管理業務委託 19,460,000円  
 ・運営事業費 33,722,426円 (その他特財 4,262,275円)  
 主な経費  
   案内等業務委託 9,054,150円  
 ・展示設備維持管理費 1,586,025円  
 ・プラネタリウム維持管理費 10,135,904円  
 主な経費  
   プラネタリウム機器保守点検委託 7,770,000円  
 ・移動天文車維持管理費 865,452円

**その他経費**

〔委員報酬〕  
 ・博物館協議会 15人 181,700円  
 〔負担金〕  
 ・日本博物館協会等 55,000円

項6 保健体育費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
523,837,000円	518,131,235円	98.9%	0円	5,705,765円

目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
78,977,000円	78,815,699円	99.8%	0円	161,301円

〔一般職給〕 9人 71,625,594円  
 〔再任用職給〕 1人 3,311,236円  
 〔嘱託職給〕 1人 3,618,879円

(スポーツ課)

その他経費

〔委員報酬〕	63,200円
・スポーツ振興審議会委員 13人	
〔一般経費〕	196,790円

目2 体育振興費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
58,964,000円	56,196,602円	95.3%	0円	2,767,398円

(スポーツ課)

目的	生涯スポーツの普及・振興				
指標	教室・大会等への参加者数	目標	18,600人/年以上	実績	14,485人/年 (18年度 17,700人) 1人当たりコスト 3,880円 (18年度 3,178円)
説明	各種スポーツ大会や講習会の開催、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の育成を図るための運営費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。また、保々・三重・橋北地区の総合型地域スポーツクラブ運営費補助を行い、活動を支援しました。その後、内部地区の設立を目指すとともに、浜田、四郷地区へと推進していきます。指標に係る目標値の未達成は、市民スポーツフェスタをはじめとする各種大会参加者の減少が、主な原因で、今後、各種大会の参加者を増やすための創意工夫や、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域スポーツの活性化を図る中でスポーツ人口の底辺拡大に努めます。				

〔スポーツ活動振興事業費〕	14,687,701円	
・総合型地域スポーツクラブ育成事業費	6,000,000円	
(平成17年度保々地区、平成18年度三重地区及び橋北地区に設立済)		
(少年スポーツ・地域スポーツの振興を図る)		
・地域スポーツ活動振興事業費	4,047,245円	(その他特財 354,700円)
・市民スポーツフェスタ開催事業費	1,535,897円	
・少年スポーツ活動振興事業費	2,525,155円	
・スポーツ功労者表彰経費	579,404円	
〔学校開放事業費〕	10,137,247円	(その他特財 6,493,940円)

〔補助金〕	19,098,500円
(各種スポーツ団体の育成を図る)	
・四日市市体育協会	4,644,000円
・三重県中学校体育連盟三河支部	3,458,000円
・四日市市レクリエーション協会	475,000円
・四日市市スポーツ少年団	630,000円
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円
・シティロードレース大会実行委員会	300,000円
・全国大会等開催費	100,000円
・全国大会等出場選手激励金等(849人)	9,221,500円
(国際・全国スポーツ大会参加選手を支援するための激励金)	

その他経費

〔体育指導委員経費〕	5,657,671円
〔負担金〕	3,377,322円
・三重県体育協会等	
〔体育振興一般経費〕	3,238,161円

### 目3 体育施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
321,144,000円	318,779,449円	99.3%	0円	2,364,551円

#### (スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	53%以上	実績	52.8% (18年度 51%) 1人当たりコスト 518円 (18年度476円)
説明	<p>指定管理者四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループに中央緑地運動施設などの運営管理を委託し、市民サービスの向上と管理コストの縮減を図りました。</p> <p>また、利用者の安全確保等のため、霞ヶ浦体育館耐震補強他改修工事を実施したほか、利用者の意見を反映させるため利用者協議会を設立し、利用者の視点に立った施設の維持管理に努めました。</p> <p>指標である稼働率については、若干目標を下回りましたが、利用者数は昨年より5万8千人余り増加し、指定管理者化の定性効果の現れであると考えています。</p>				

〔運動施設管理運営費〕	226,392,649円	(その他特財 7,142,763円)
・一般経費(施設管理委託料、光熱水費等)		
〔運動施設整備事業費〕	67,847,850円	
・中央緑地運動施設	7,046,550円	
中央緑地陸上競技場補修工事等		
・霞ヶ浦緑地運動施設	51,252,600円	(市債 27,700,000円)
霞ヶ浦体育館耐震補強他改修工事		
・その他運動施設整備事業費	9,548,700円	
三滝武道館柔道場畳取替工事等		
〔補助金〕		
・地区運動広場整備事業	1,117,950円	
〔負担金〕		
・三重県体育施設協会等	21,000円	

#### (楠プラザ)

##### その他経費

〔一般経費〕	23,400,000円
・施設総合管理委託料	
特定非営利活動法人「楠スポーツクラブ」へ管理運営委託	利用者数 延べ人105,309人

### 目4 四日市ドーム費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
64,752,000円	64,339,485円	99.4%	0円	412,515円

#### (スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	100%	実績	99.7% (18年度 100%) 1人当たりコスト 352円 (18年度 515円)
説明	<p>平成19年度より四日市ドームを指定管理者トーエネックグループに管理を委託し、民間事業者の創意工夫により市民サービスの向上と管理コストの縮減に努めました。稼働率は若干目標を下回りましたが、開館日を増加したこと等により利用者数が2万3千人以上伸びました。</p>				

〔施設管理運営費〕	64,339,485円	(その他特財 2,178,416円)
・一般経費(施設管理委託料等)		

四日市ドーム利用状況

開館日数(A)	利用可能日数(B)	利用人数	利用率(A/B×100)	使用料収入		
314日	315日	182,640人	99.7%(H18 100%)	37,936,880円		
アマチュアスポーツ		その他の催し物			一般公開	合計
入場料無	入場料有	式典・講演会	展示・見本市	プロ興行		
345件	3件	5件	5件	0件	22件	380件